



【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	5	45
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	15	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する(60点満点)。定期試験では、本講義で習得した知識を応用した選択問題を出題する。			Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各回講義後に、Teams の課題機能を用いてリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する考察や気づきが具体的に記述されているかを評価する(全8回、各5点満点で計40点満点)。			締め切り後、評価点を付して返却する。 リアクションペーパーで受けた質問については、講義中にフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの考えを記述する課題(ワーク、リアクションペーパー等)において、生成 AI の出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は評価の対象外とする。</li> </ul>						